

宮城県感染症発生動向調査情報(第41週)

宮城県【平成25年10月17日】発行

宮城県保健環境センター

- 2013.10.7 ~ 10.13 ・ 第41週 -

TEL (022)257-7228

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							仙台市				宮城県(含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第38週	第39週	第40週	第41週	
水痘	2 0.40	10 1.00	2 0.40		4 1.33	1 0.20		6 0.23	25 0.43	2,659	→	→	○→	○	
流行性耳下腺炎		4 0.40			2 0.67		1 0.50	2 0.08	9 0.16	890	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	5 1.00	14 1.40	9 1.80	10 5.00	9 3.00	7 1.40	2 1.00	39 1.50	95 1.64	12,787	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病	20 4.00	49 4.90	17 3.40	7 3.50	5 1.67	17 3.40	9 4.50	86 3.31	210 3.62	3,947	◎→	◎→	◎→	◎	
伝染性紅斑		1 0.10			8 2.67	2 0.40		15 0.58	26 0.45	521	→	→	→	○	
突発性発しん	5 1.00	6 0.60	6 1.20	1 0.50	2 0.67	3 0.60	2 1.00	13 0.50	38 0.66	1,517	○→	○→	○→	○	
ヘルパンギーナ		15 1.50	1 0.20		2 0.67	1 0.20		7 0.27	26 0.45	2,039	◎→	○→	レ→	レ	
インフルエンザ											→	→	→		
咽頭結膜熱								1 0.04	1 0.02	680	→	→	→		
流行性角結膜炎		4 1.33				1 1.00			5 0.42	135	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 1.80	16 1.60	5 1.00	4 2.00	4 1.33	24 4.80		24 0.92	86 1.48	3,957	○→	○→	○→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎								1 0.20	1 0.08	10	→	→	→		
マイコプラズマ肺炎		4 4.00	5 5.00	1 1.00			8 8.00	1 0.20	19 1.58	746	→	→	→		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	1 0.20	8 0.80	2 0.40	6 3.00	7 2.33	2 0.40		26 1.00	52 0.90	747	○→	○→	○→	○	
拡張疾病															
マイコプラズマ肺炎(小児科)			1	7	1			12	2		：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
川崎病											【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/				
不明発疹症		1						4							

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核

塩釜管内 女性1名
大崎管内 男性1名(第40週)、男性1名、女性2名
登米管内 男性1名、女性1名
仙台管内 男性2名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 後天性免疫不全症候群

仙台管内 女性1名(推定感染地域: 国外)
クロイツフェルト・ヤコブ病
仙台管内 男性1名(第40週)
アメリバ赤痢
仙台管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 女性1名(第40週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

宮城県感染症対策委員会情報解析部会

[手足口病]

仙南、塩釜、大崎、栗原、仙台管内で警報継続中。

[伝染性紅斑]

登米管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第39週採取分 (9.23～9.29)	第40週採取分 (9.30～10.6)	第41週採取分 (10.7～10.13)
アデノウイルス	1件	1件	0件
エンテロウイルス	1件	0件	1件

[手足口病]

口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行する。全国的に患者報告数の多い状態が継続しており、県内でも仙南、塩釜、大崎、栗原、仙台管内で警報値を超えている。今しばらくは、手足口病の起病因病原体の中で重症化の頻度が高いとされるエンテロウイルス1(EV71)を含め、発生動向には注意が必要である。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第39週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.78)、島根県(0.45)、長野県(0.08)、岐阜県(0.08)である。**RSウイルス感染症:** 報告数は2,962例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.36)、宮崎県(1.36)、佐賀県(1.09)、熊本県(1.00)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.50)、鳥取県(1.42)、山形県(1.30)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(6.14)、大分県(5.42)、茨城県(5.20)である。**水痘:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.84)、宮崎県(0.83)、大分県(0.78)である。**手足口病:** 定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(5.01)、新潟県(4.98)、宮城県(3.76)である。**伝染性紅斑:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.18)、富山県(0.17)、宮城県(0.16)である。**百日咳:** 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は福岡県(0.06)、大分県(0.06)、沖縄県(0.06)、福井県(0.05)、鳥取県(0.05)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(1.24)、三重県(1.07)、新潟県(1.03)である。**流行性耳下腺炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は高知県(1.33)、福井県(1.14)、福岡県(0.85)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は愛知県(1.15)、岩手県(1.00)、富山県(1.00)、石川県(1.00)である。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。